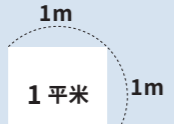


不動産学部って
「何を学ぶの？」
とギモンを持ったら。



さあ、表紙をめくって



「1㎡の土地」について 6つの視点で考えてみよう!

4272*
万円/㎡

日本で一番高い土地、それは東京・銀座にある「鳩居堂前」。
そんな銀座の「1㎡の土地」について不動産学のいろいろな視点で探ってみよう!

流通

銀座ブランドを強化し
新たなニーズを生み出そう

銀座ならではの歴史や観光資源を活かして地域のブランド力を強くできれば、今よりもっと注目度や期待度が上がって、銀座でお店を出したい、住みたいといったニーズが向上するかも。

金融

資産価値を見極め
不動産市場を活性化

銀座という一等地にある資産価値の高い土地やビルを不動産証券化すれば、不動産市場の活性化につながるかも。

開発

時代の変化を取り込んで
いつまでも活気のある街に

高級ブランド店やデパート、レストラン、カフェ、劇場などが立ち並び、華やかな銀座の街。でも、時代の変化やニーズに合わせてアップデートしてきたから、今の銀座があるんだな。

投資

投資で店舗を再生し、
人気スポットをプロデュース

観光客に人気のある銀座という立地を活かして、和のテイストを取り入れたビルに建て替え、テナントとして貸し出せば、観光客に人気のお店が集まる、話題のスポットにできるかも。

経営

空き地や空き家を
上手に活用!

片隅にある小さな土地でも、有効に活用すれば収益性が見込めます。また、古い建物でもリノベーションしてホテルやカフェにするなど、アイデア次第で収益性の高い不動産にできるかも!?

管理

これからもずっと
この景観を維持したい

建物や公共空間の整備・保全を行い、この美しい景観や歴史ある建物を維持すれば、銀座の魅力はずっと褪せない。安全で清潔な街を維持することも、住人の安心や旅行者の楽しみに結びつくんじゃないかな。

※国税庁発表の路線価【路線（道路）に面する標準的な宅地の1平方メートル当たりの価額のこと】より

土地・建物にかかわる幅広い領域を 実践的かつ総合的に学ぶ。

不動産学科では、不動産の流通・金融・開発・投資・経営・管理にかかわる実践的な知識を総合的に学んでいきます。

専門領域を深く学ぶゼミ科目や、社会課題に取り組む実践プログラムなど、様々な手法を取り入れたカリキュラムで、不動産のスペシャリストを育成します。また、宅地建物取引士などの資格取得のサポートも充実させています。

2つの専攻

社会デザイン専攻

社会で活躍する
不動産のスペシャリストを育成

6分野（流通・金融・開発・投資・経営・管理）を総合的に学び、不動産を多面的にとらえる能力を養うとともに、実践教育により課題解決力を身につけます。また、4年間の学修の成果として、不動産関連ビジネスに不可欠な宅地建物取引士の取得をめざします。

不動産鑑定専攻

不動産鑑定士をめざす
教育を展開

不動産鑑定士資格を持つ実務経験豊富な教員によるきめ細かな指導のもと、不動産鑑定士をめざします。土地や建物といった不動産の鑑定、評価、コンサルティングを行うための高度な専門知識と実践力を養い、即戦力となるスペシャリストを育てます。

管理

01

目標に応じて専門領域を 選べるカリキュラム

不動産を扱う上で必要不可欠な知識と能力を育成するため、1、2年次に不動産学の基礎を学び、3年次より目標に応じて選んだ専門領域で、高度で実践的な専門能力の養成を図ります。また、不動産鑑定士をめざす学生のための専攻も用意しています。



学びの
ポイント



03

海外短期研修

独特な土地・建物の利用が発達しているハワイでの実地学習とハワイ大学で学ぶ機会があります。また、姉妹校である韓国の建国大学校、釜山外国語大学とも順次、交流を再開していきます。成績優秀者は、渡航費、授業料、宿泊費など、研修に係る費用をすべて大学負担で参加することができます。

02

社会問題に取り組む 実践的プログラム

不動産学部では自治体や民間組織などと連携し、空き家問題や地域再生など不動産関連の課題解決にむけた社会的取り組みを行っており、学生の「主体性」「課題設定・解決能力」を養う実践的プログラムを用意しています。

04

手厚い資格取得サポート

宅地建物取引士の資格取得がめざせるカリキュラムを編成し、試験合格をサポートする授業や模擬試験、オープンカレッジでの支援などを充実させています。

明海大学不動産学部で 「不動産学」を学ぶとは。

「法学・経済学・工学」の3つに跨るハイブリットな授業で
「流通・金融・開発・投資・経営・管理」の6分野を学び、
「不動産」を総合的に考える力を身につけます！

管理

超高齢社会・持続可能社会の 担い手になれる

不動産管理とは

土地や建物の管理・メンテナンス、賃貸であれば家賃の集金管理などを行います。

学ぶこと

建物をどうメンテナンスするか、居住者が高齢化する中で集合住宅のコミュニティをどう維持するかなど、安心して住み続けられる住環境の整備について考えます。



金融

お金の専門家として 経済の発展に貢献できる

不動産金融とは

不動産と金融を組み合わせた分野です。不動産の有価証券化による資金調達、開発や購入に必要な資金計画の立案など、高い金融知識が求められます。

学ぶこと

不動産の開発や購入にともなう金融の仕組みを学びます。また、市場調査や投資評価を行う実践的スキルを身につけます。

投資

資産形成の専門家として 豊かな社会を実現できる

不動産投資とは

不動産を購入、保有、管理、販売することで利益を得る一連の活動で、市場の動向、法律、財務分析など、幅広い知識が求められます。

学ぶこと

不動産投資に必要な市場調査や財務分析の手法や、税務、法などの知識を修得し、投資戦略を立案し、実行できるスキルを身につけます。



開発

社会（都市・地域・建築）を よくする仕事につける

不動産開発とは

用地取得・企画・開発・販売・管理を手掛け、商業施設やマンション、街やリゾートなど多岐にわたる不動産の開発に関わります。

学ぶこと

いつまでも土地や建物の価値や魅力が持続するまちづくりを、住宅地の模型作成やプロジェクト管理などを学びながら考えます。



流通

不動産業の後継者として 活躍できる

不動産流通とは

不動産オーナーと顧客を結ぶ仕事です。主に土地や建物の売買・賃貸の仲介、分譲マンションの販売代理などを行います。

学ぶこと

購入にまつわる資金計画やローンの知識、取引に必要な法制度など、不動産を商品として扱う上で必要な知識やノウハウを修得。また、VR内見などDX化が進む分野でもあり、最新事例も学びます。



経営

組織・プロジェクトの リーダーになれる

不動産経営とは

所有している不動産を活用したり、マンションやアパートを新築または購入したりして賃貸および売買業務を行います。

学ぶこと

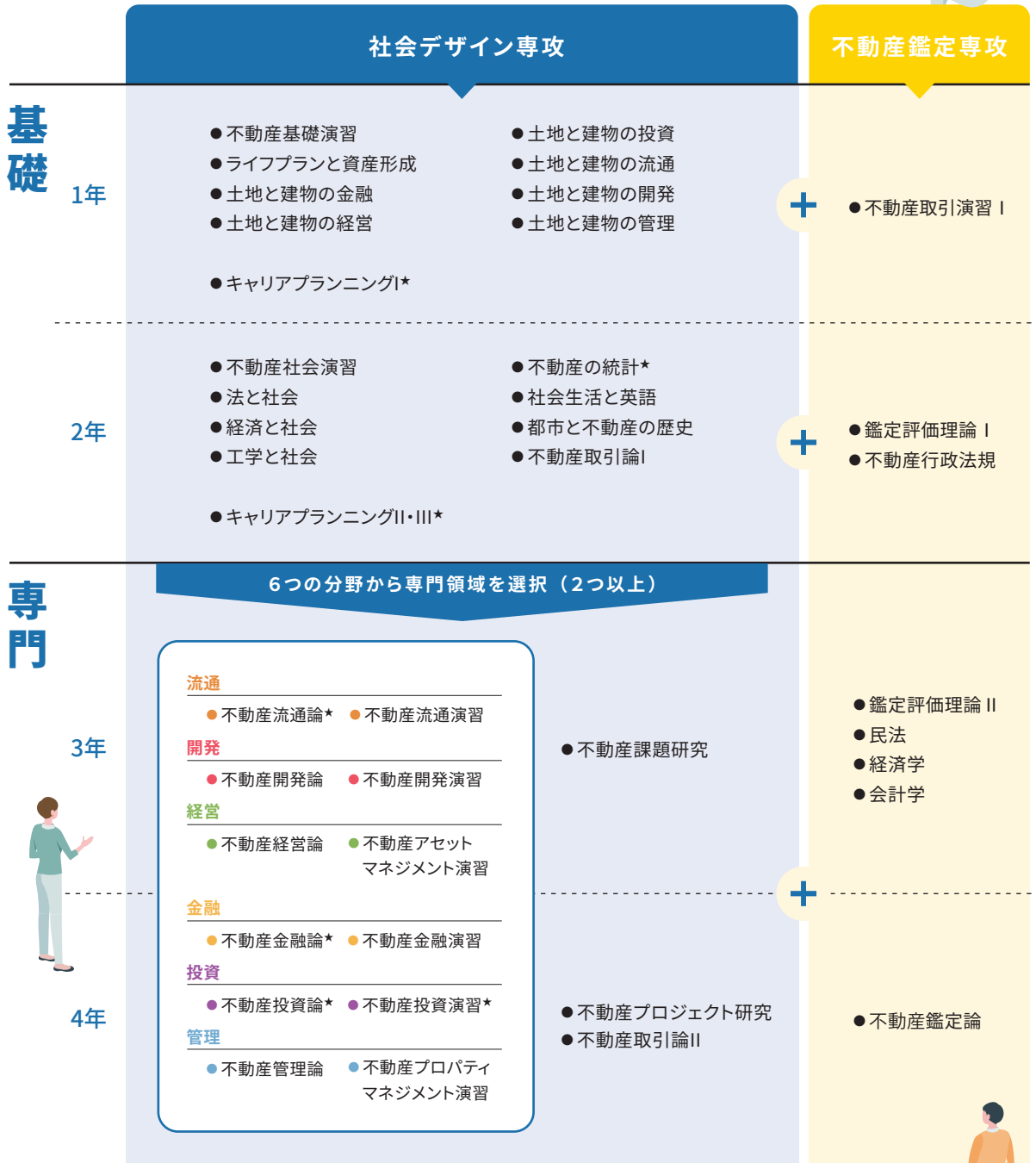
不動産に関する法制度や業務内容、ビジネスの仕組みを理解し、プロジェクト運営や企業経営などに必要な知識を修得します。



私たちが、この街を元気にします。

カリキュラム

1・2年次は不動産と社会や生活とのつながりを学び、不動産学の基礎を修得します。
3年次からそれぞれの専門分野を定め、各分野の知識を深めるとともに、社会実践教育で、社会で活躍する不動産のスペシャリストを育成します。



★のある授業ではデータサイエンスの利活用についても学びます。



建築デザイン副専攻

建築士をめざす学生のために「建築デザイン副専攻」を設けています。上記専攻にプラスして建築系の授業を取れば、卒業時に建築士（一級・二級）の受験資格を得ることができ、必要な実務経験を積むことにより免許登録できます。

主な授業

- 設計製図A・B
- 建築CAD演習
- 建築環境デザイン
- 住宅地計画演習



(申請予定)

PROJECT かみのやまプロジェクト



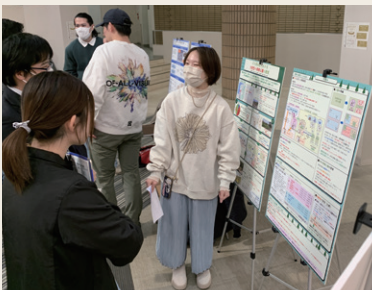
本学は山形県上市市と連携協定を結び、空き家・空き地・空き店舗などの再生活用を通して、地域の再活性に向けた取り組みを行っています。プロジェクトは不動産学部第3期卒業生で地元山形県上市市で不動産会社を営む渡辺秀賢さんの紹介により始まり、今では市役所や住民の方と一緒にまちづくりの様々な課題に取り組み、学生たちも「演習」「ゼミ」「インターンシップ」などの機会を通じて現地での活動を積極的に行っています。

2年次の都市計画の授業で、不動産は建物だけでなく、人と人がつながる場所を作ることであることを学び、まちづくりに興味を持ちました。かみのやまプロジェクトは、市民や市役所の方と一緒にアイデアを出して、より良いまちづくりをすることができる貴重な機会です。今は、利用者の少ない公園を市民が集まる場所にするため、定期的にイベントを企画したり、自分たちで街にあるお店に取材をして、街歩きに役立つトリップブックの作成も動き出しています。プロジェクトに参加して視野が広がり、不動産学のおもしろさを日々感じています。また、1年次で取得した宅建士の知識は現場でも役立ち、さらに経験からしか学べない知識も身につけています。普段、まちを歩いていて、公園のイスを見るだけで、そこにイスを置いた意図などを考えるようになり、今までとは違った目線で街を見られるようになりました。



不動産学科4年
高屋敷 華子さん

PROJECT 木更津プロジェクト



本学は千葉県木更津市と連携協定を結び、中心市街地等の活性化、市有不動産の利活用などに取り組んでいます。アクアラインの開通により、移動手段が鉄道から車に移り、人口が中心市街地から郊外に流れる現状を踏まえ、初年度となる2023年度は、学生たちが考える市の不動産再編案を市役所の方々に提案しました。本プロジェクトは多様な専門領域の教員による指導のもと、学問を横断し、実践的な学びを提供しています。

スクラップ&ビルドで建て替えられる不動産が多い中、私は建物を使い続けること、再利用することに関心があり、教員からこのプロジェクトの話聞いてすぐに興味を持ちました。プロジェクトの魅力は、建築、都市計画、経営、法、文化など不動産に関わる多面的な側面を検討し、実際に直面する問題や、簡単に答えのない問題に取り組めることです。私の場合、2、3年次に不動産売買や費用計算等を中心に学んできましたが、市営住宅跡地の活用提案をおこなう際は、CADを用いて日影規制を検討するなど、別分野の経験もできました。また、民間資金によって公共施設等を整備するPFI*など、教科書で学んでもイメージし辛かったことも、木更津市で実際に行われている事例を見ることができ、理解度が高まりました。不動産学部は実務家教員が豊富なため、疑問点に対して現実に即した的確なアドバイスがもらえるので、プロジェクト進行も安心でした。



不動産学科4年
前田 真虎さん

*PFI: Private Finance Initiativeの略



明海大学

お問い合わせ先

企画広報課

〒279-8550 千葉県浦安市明海1丁目
TEL.047-355-1101 FAX.047-355-0999
<https://www.meikai.ac.jp>



大学HP



不動産学部HP